

.....

うきたむ考古通信

.....

2022年2月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

館事業報告

2021年度館事業等の報告

2021年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止とせざるを得ない行事もありましたが、以下のような事業に取り組みました。

1. 基本方針

- (1) 展示解説や体験事業、研究の相談等、来館者のニーズに沿った運営に努めます。
- (2) 基本的には令和2年度の内容に沿った事業計画とするが、特別テーマ展を再開します。
- (3) 学校の授業や行事による来館のほか、公民館施設や福祉施設など地域の諸団体との連携をより深め、積極的に出前講座を行うなど、新たな利用層の拡大に努めます。
- (4) チラシの配布やホームページ更新で、より効果的な情報発信と広報に努めます。

2. 資料収集・保管

(1) 資料収集と整理

- ① 展示や貸出・閲覧等の利用頻度が高く、研究資料としての価値の高い資料の収集を行います。また、昨年度に続き、長い間の懸案であった指定品以外の収蔵資料の台帳化を進めています。年度末までに館蔵品の6割程度の台帳化が終わる見込みとなっています。
- ② 発掘調査報告書その他の文献を積極的に入手・収集します。

(2) 保管

- ① 収蔵施設状況をふまえた適正な保管に努め、収蔵庫の効率的な運用を図るとともに、収蔵資料の適切な保管と収蔵環境の維持に努めます。
- ② 館事業に関する各種資料の適切なファイリングに努めます。
- ③ 資料の調査・研究を継続し、展示・解説に備えます。

3. 展示

(1) 常設展示

- ① ロビー展示 「置賜のあけぼの」(旧石器時代)
- ② 常設展示室 「大谷地をかこむ遺跡」(縄文時代草創期～早期)
「縄文時代のタイムカプセル」(縄文時代前期～晩期)
「古墳をつくる人々」(弥生時代～古墳時代)

基本的に現在の形を継続する。古代以降については、企画展示を実施しない時期に、企画展示室を使用して常設展示に続く通史的な展示である「古墳時代から中世の考古資料」を展示します。

(2) 企画展示

①特別テーマ展「小国町の考古学」

6月12日(土)～9月5日(日)

山形県の南西部に位置する小国町は北に朝日連峰、南に飯豊連峰を望み、全域が荒川流域です。このため、古くから、新潟方面との交流が活発な地域でした。

考古学的にみると小国町は後期旧石器時代の前半期から縄文時代晩期まで、一部の時期に空白があるものの、ほぼ連続した生活痕跡がある山形県内では唯一の市町村であり、また、縄文時代以降の遺跡がほとんど見つかっていない地域でもあります。

今回、以下の資料(全721点)を展示しました。

旧石器時代では前半期は岩井沢遺跡の基部調整ナイフ形石器等69点、後半期では湯の花遺跡のナイフ形石器や細石刃など90点、横道遺跡のナイフ形石器、彫刻刀形石器など45点、平林遺跡のナイフ形石器、搔器等72点、旧石器時代終末期～縄文時代草創期の東山紺野遺跡の尖頭器、片刃石斧など7点を展示しました。

縄文時代の早期では市野々向原と古屋敷遺跡の土器1個体、縄文土器片16点、石器など50点を、前期では市野々向原、墓窪、野向遺跡の縄文土器片33点を、中期では谷地、千野、野向、市野々向原遺跡の縄文土器13個体、土器片7点、谷地遺跡の石器など43点を、後期では千野、下叶水遺跡の縄文土器24個体と土器片3点を、晩期では下叶水遺跡の縄文土器18個体、後期後半から晩期の石器・石製品145点、土偶などの土製品17点を、エピローグとして市野々向原遺跡の弥生土器1個体、弥生土器片3点を展示しました。また、これらの展示品の図録を刊行しました。

②第29回企画展「山形県の近世城郭と出土品」

9月11日(土)～12月5日(日)

県内の近世城郭に焦点を当て、城下絵図とともに近世初頭までの出土品を中心に展示しました。

展示構成はつぎのとおりです。第一章舘山城、第二章米沢城、第三章山形城、第四章新庄城、第五章鶴ヶ岡城、第六章亀ヶ崎城。

舘山城跡の展示品は榊形堀切などから出土した陶磁器16点、東舘は伊達期を中心とした陶磁器や内耳土塼、武具、道具など30点、北舘の陶磁器、かわらけ、古銭など32点です。

米沢城の展示品は二の丸の伊達期及び上杉期の内耳土塼、輸入陶磁器、国内産の陶器、仏具など46点、二の丸障子堀出土の上杉期の国産陶器、脇差など25点を、三の丸から出土した伊達期・上杉家の陶磁器、漆器等26点です。

山形城の展示品は本丸中央堀跡の出土品を中心に金箔瓦などの瓦、国産陶器、輸入磁器、金鎚、ノミ釘や鋸、手違、橋脚など49点を、二の丸の出土品は良櫓から出土した慶長一分金4点と瓦、陶磁器など14点を、三の丸の出土品は国産及び輸入陶磁器、鍛冶関連資料を50点、城内各地の出土の刀剣や武具等16点です。

新庄城の展示品は鯺瓦、軒丸瓦、軒平瓦14点です。

鶴ヶ岡城の展示品は武藤氏時代の輸入磁器や国産陶器など23点と酒井氏入部以降の磁器や瓦器、そ

して時期不明の木製品 21 点です。

亀ヶ崎城の展示品は中世末から近世初頭のもので、16 世紀代の中国産の陶磁器と国産の陶磁器 42 点、漆器 5 点、お茶に関連する木簡、天目茶碗、天目台、茶入、茶器の蓋(漆器)等を 6 点、槍・短刀・刀子・火縄などの武具 6 点、上杉・最上の戦いに使われたと考えられる武具に付けられた木簡が 4 点、同じ場所から出土した瀬戸美濃の折縁皿 1 点、城内で使われた物品を示す様々な木簡 6 点、網の錘や、ヤスなどの漁具 3 点と、食料となった貝類 2 点、マダイ・ブリ・イルカなどの漁骨 6 点、ニワトリ・ガン・カモ・ニホンジカ・イヌ、ウマ等の鳥獣骨 10 点です。

企画展開催中考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行しました。

◇ 第 23 期考古学セミナー「発掘調査でわかった山形県内の近世城郭と出土遺物」

9 月 26 日(日)・10 月 3 日(日)・10 月 17 日(日)

◇ 記念講演会「近世城郭と石垣」 受講者 24 名(前年度 22 名)

11 月 14 日(日) 講師：北野博司氏 (東北芸術工科大学教授)

③kid' S 考古学新聞コンクール全国巡回展 8 月 28 (土)～9 月 20 日(月)

令和 3 年 1・3 月に開催された「第 1 回 kid' s 考古学新聞」の入賞作品の巡回展です。このコンクールには遊佐町立吹浦小学校 6 年生(応募当時)の石垣風犀さんが応募した「小山崎新聞」が入賞、「遺跡愛ハンパないで賞」に輝きました。これらの入賞作品 30 点のパネルを展示しました。

4. 研修事業

(1) 研修講座

①館長講座 「小国町の考古学」を開催。

第 1 回(7 月 4 日(日)) 13:30～15:30 受講者 11 名

・旧石器時代の小国町

第 2 回(7 月 11 日(日)) 13:30～15:30 受講者 14 名

・縄文時代の小国町

配布資料を PDF で、講座の録画をそれぞれホームページ上で公開しました。

②第 23 期考古学セミナー 受講者延べ 50 名(前年度延べ 58 名)

第 1 回(9 月 26 日(日)) 受講者 18 名

・米沢城跡の発掘調査と出土遺物

米沢市教育委員会 菊地 政信 氏

・舘山城跡の発掘調査と出土遺物

米沢市教育委員会 佐藤 公保 氏

第 2 回(10 月 3 日(日)) 受講者 17 名

・山形城跡の発掘調査と出土遺物

山形市役所 齋藤 仁 氏

第 3 回(10 月 17 日(日)) 受講者 15 名

・鶴ヶ城跡の発掘調査と出土遺物

(公財)山形県埋蔵文化財センター 菅原 哲文 氏

・亀ヶ崎城跡の発掘調査と出土遺物

(公財)千葉県教育振興財団 高桑 登 氏

配布資料をPDFで、講座の録画をそれぞれホームページ上で公開しました。

(2) 野外研修

県内外の遺跡や資料館をめぐることで、遺跡や考古資料への関心・理解を深めることが目的です。

- ①春の遺跡めぐり 5月30日(日) 西川町 中止
- ②みる・きく・ふれる遺跡の旅 6月26日(土)～27日(日) 栃木県中南部を予定 中止
- ③秋の遺跡めぐり 11月7日(日) 福島県南相馬市 参加者 12名 引率2名 講師1名

4. 体験学習

(1) ものづくりを通して考古学に関心を持ち、知識向上や達成感にもつながる体験事業を行うことが目的です。

①「赤ちゃん手形をつくろう」

5月3日(金)～5月5日(水) 参加人数1,118名 手形・足形個数297個
8月7日(土)～8月9日(月) 参加人数527名 手形・足形個数151個

②「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月29日(土) 中止
7月10日(土) 参加人数8名(前年度21名)
11月3日(火・祝) 参加人数32名(前年度27名)

③「ガラス玉をつくろう」

6月12日(土) 参加人数4組9名(前年度新型コロナ感染拡大のため中止)
11月27日(土) 参加人数8組14名(前年度9組18名)

④「コースターをつくろう」

6月19日(土) 参加人数3名(前年度新型コロナ感染拡大のため中止)
12月4日(土) 参加人数5名(前年度7名)

⑤「古代風ブレスレットをつくろう」

6月19日(土) 参加人数3名(前年度新型コロナ感染拡大のため中止)
12月4日(土) 参加人数6名(前年度4名)

⑥「大人の自由研究」

7月17日(土) カラムシから繊維をとる) 参加人数1名(前年度新型コロナ感染拡大のため中止)
12月5日(日)、11日(土)——塩引きつくり 参加人数8名(今絵年度新規事業)
※参加者は少なかったのですが、参加者からの感想やお礼のメッセージがあり、ホームページで公開しました。

5. 他団体との連携

(1) 学校との連携

小学校27校 中学校2校 特別支援学校3校 大学2学 幼稚園等5園
前年度：小学校17校 中学校1校 特別支援学校1校

① 学校団体の入館(修学旅行・社会科見学での入館。出前授業も含む)

5月28日 高島町立亀岡小学校 6年生15名 引率2名
6月8日 高島町立糠野目小学校 6年生71名 引率3名

6月16日 鶴岡市立西郷小学校 6年生17名 引率5名
 6月18日 白鷹町こども園出前体験授業 園児40名
 6月24日 高島こども園 園児59名 引率8名
 6月26日 南陽市立沖郷小学校出前授業 児童62名 大人62名
 7月1日 村山市立楯岡小学校 6年生83名 引率6名
 7月1日 東根市立小田島小学校 6年生22名 引率3名
 7月6日 高島町立和田小学校 6年生34名 引率2名
 7月7日 米沢市立興讓小学校 児童22名 引率2名
 7月9日 山形県立山形盲学校 生徒1名 引率2名
 7月15日 高島町立高島小学校クラブ活動 児童20名 引率2名
 8月29日 山形大学人文社会学部 学生16名 引率3名
 9月16日 川西町立中郡小学校 5年生 児童25名 引率4名
 9月28日 酒田市立若浜小学校 6年生 児童47名 引率5名
 9月28日 鮭川町立鮭川中学校 生徒23名 引率5名
 10月1日 遊佐町立蕨岡小学校 6年生 児童9名 引率4名
 10月1日 山形県立米沢養護学校 児童生徒12名 引率10名
 10月1日 櫛引町立櫛引東小学校 6年生児童13名 引率4名
 10月1日 米沢市立三沢西部小学校 5・6年生 児童6名 引率4名
 10月7日 尾花沢市立福原小学校 6年生 児童18名 引率4名
 10月7日 酒田市立広野小学校 6年生18名 引率5名
 10月12日 白鷹町よつば子ども園 園児18名 保護者18名 引率5名
 10月15日 高島町立屋代小学校 3年生30名 引率3名
 10月19日 白鷹町愛真こども園 園児16名 保護者16名 引率3名
 10月21日 遊佐町立遊佐小学校 6年 児童35名 引率5名
 10月22日 山形県立山形養護学校中等部 生徒4名 引率5名 保護者1名
 10月28日 三川町立押切小学校 6年生 児童23名、引率4名
 10月28日 大石田町立大石田小学校 6年生 児童25名 引率3名
 10月28日 天童市立天童北部小学校 6年生 児童64名 引率12名
 10月29日 遊佐町立藤崎小学校 6年生 児童19名 引率4名
 11月4日 南陽市立 宮内中学校文化祭出前講座 生徒31名 教諭1名
 11月6日 米沢市まいつる幼稚園こども会 児童12名 保護者10名
 11月11日 酒田市立十坂小学校 6年生 児童34名 引率5名
 11月11日 大石田町立大石田北小学校 6年生 児童21名 引率3名
 11月12日 鶴岡市立藤島小学校 6年生 児童62名 引率6名
 11月19日 酒田市立浜中小学校 6年生 児童7名 引率3名
 11月19日 酒田市立西荒瀬小学校 6年生 児童16名 引率4名
 12月1日 山形県立米沢女子短期大学 学生57名 引率7名

② 教員対象教材指導

上半期は該当なし

③ 学校関連（団体以外）

該当なし

(2) 学校以外との連携

8月10日 シャぼん玉クラブ愛宕（学童施設・児童15名 引率2名）
 8月11日 アトリエ自遊楽校（児童105名 引率8名）

10月10日 川西吉島地区還年クラブ(14名)

10月10日 米沢市万世地区コミュニティーセンター(22名)

6. 学芸員実習

9月14日～9月18日 東北芸術工科大学大学より1名。

7. 印刷物発行

- (1) 館報「うきたむ」第57号 7月1日発行 第58号 12月1日発行
- (2) 令和3年度年報 3月発行予定
- (3) 特別テーマ展『小国町の考古学』 6月12日発行
- (4) 第29回企画展図録『山形県の近世城郭と出土品』 9月11日発行
- (5) その他 催し物ご案内リーフレット、各事業チラシ・ポスター

8. 他団体との共催事業

(1) うきたむ考古の会

定例役員会 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

総会 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

5月31日 春の遺跡めぐり 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

6月26・27日 みる・きく・ふれる遺跡の旅 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

11月7日 秋の遺跡めぐり 会員10名参加(前年度13名)

9月26日・10月3・17日 第23期考古学セミナー 会員のべ26名受講(前年度33名)

11月14日 第29回企画展記念講演会 講師：北野博司氏(東北芸術工科大学教授)
会員10名受講(前年度12名)

(2) うきたむ学講座実行委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

(3) 山形考古学会 「山形の考古資料検討会」

2月20日 準備を進めていましたが、新型コロナの感染拡大のため中止となりました。

9. その他

(1) 発掘調査支援 1件(北町遺跡)

(2) 調査支援・協力・相談 0件

(3) 資料調査 16件

5月16日一金彦中氏他2名(東北大学大学院) 5月22日一笹森さん(東北芸術工科大学)

7月24日一金彦中氏(東北大学大学院) 8月19日一米田寛氏(岩手県博)

8月20、21、22日、28日、9月1日一長井謙治氏(愛知学院大学准教授)

8月28日一米田穰氏(東京大学総合博物館教授)、澤田純明氏(新潟福祉医療大学准教授)
相原淳一氏(東北歴史博物館)、中村信博氏(茂木町教育委員会)

9月7、8日一米田穰氏(東京大学総合博物館教授)

9月7日——佐野勝宏(東北大学東北アジア研究センター教授)

10月22、23、24日一金彦中氏(東北大学大学院)

2022年度事業計画の概要

2022年度の事業計画は2月9日に開催された運営協議会で下記のような方針と事業計画が承認されました。来年度も新型コロナの感染拡大防止のため、中止とせざるを得ない事業もないとはいえませんが、あくまで、計画ということでご理解いただきたいと思っております。

各事業に会員の皆様の積極的な参加を期待しています。

【1】全体方針

1. 展示解説や体験事業、研究の相談等、来館者のニーズに沿った運営に努めます。
2. 基本的には令和3年度の内容に沿った事業計画とします。
3. 学校の授業や行事、修学旅行による来館のほか、公民館施設や福祉施設など地域の諸団体との連携をより深め、積極的に出前講座を行うなど、新たな利用層の拡大に努めます。
4. チラシの配布やホームページ更新で、より効果的な情報発信と広報に努めます。

【2】資料収集・保管

1. 資料収集と整理

- (1) 展示や貸出・閲覧等の利用頻度が高く、研究資料としての価値の高い資料の収集を行います。また、令和2年度に開始した指定品以外の収蔵資料の台帳化を進め、年度内にこれまでの収蔵品と加藤稔寄贈予定資料のすべてを終了させることを目指します。
- (2) 発掘調査報告書その他の文献を積極的に入手・収集します。

2. 保管

- (1) 収蔵施設状況をふまえた適正な保管に努め、収蔵庫の効率的な運用を図るとともに、収蔵資料の適切な保管と収蔵環境の維持（温湿度管理）に努めます。
 - (2) 館事業に関する各種資料の適切なファイリング・データ保存に努めます。
3. 資料の調査・研究を継続し、展示・解説に備えます。

【3】展示

1. 常設展示

基本的に現在の形を継続します。古代以降については、企画展示を実施しない時期に、企画展示室を使用して常設展示に続く通史的な展示である「古墳時代から中世の考古資料」を展示します。併せて大人向け、子ども向けの解説シートについて必要があれば改訂を行います。

2. 特別テーマ展

「高瀬山の考古学Ⅰ－旧石器時代・縄文時代」

6月11日（土）～9月4日（日）

※山形県内で最も広く発掘調査された寒河江市高瀬山遺跡の調査成果を展示します。今年度は第1回目として旧石器時代と縄文時代の出土品を展示します。

期間中に、館長講座を開講し調査成果と出土品の概要について解説します。

展示図録の刊行を検討します。

3. ③kid' S 考古学新聞コンクール全国巡回展

8月下旬～9月下旬

令和3年11月1日に審査結果が発表されました「第2回 kid' s 考古学新聞」の入賞作品の巡回展の開催を、昨年につき、要請します。

4. 企画展示

第30回企画展「最上地域の縄文時代」

9月10日(土)～12月4日(日)

西ノ前遺跡出土の土偶（縄文の女神）の国宝指定10周年に協賛し、最上地域の縄文時代の調査成果を展示する。展示遺物は下記の遺跡から選択します。

早期の土器——新庄市仁間磯ノ沢遺跡、福田山A遺跡、真室川町滝ノ沢山遺跡

前期の土器——新庄市福田山A遺跡、仁間磯ノ沢B遺跡、最上町水上遺跡、金山町太郎水野1遺跡、本町遺跡、真室川町滝ノ沢山遺跡、大蔵村上竹野遺跡

中期の土器——最上町水木田遺跡、かっぱ遺跡、水上遺跡、舟形町西ノ前遺跡、新庄市中川原C遺跡、立泉川遺跡、鮭川村小反遺跡、真室川町釜淵C遺跡、中台4、5遺跡、金山町太郎水野2遺跡、下中田遺跡、大蔵村上竹野遺跡

後期の土器——最上町水上遺跡、かっぱ遺跡、新庄市立泉川遺跡、戸沢村津谷遺跡、大蔵村上竹野遺跡

晩期の土器——最上町げんだい遺跡、材木遺跡、真室川町釜淵C遺跡、大蔵村上竹野遺跡

早前期の石器・石製品—

中期の土製品、石器・石製品——前葉（水木田遺跡）、中葉（中川原C遺跡）、後葉（小反遺跡）

後期の土製品、石器・石製品——水上遺跡、かっぱ遺跡

晩期の土製品、石器・石製品——材木遺跡

企画展開催中にギャラリートーク、考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行します。

【4】自主事業

1. ものづくりを通して考古学に関心をもち、知識向上や達成感にもつながる体験事業を行います。

(1) 「赤ちゃん手形をつくろう」

4月29日(金)～5月1日(日)、5月3日(火)～5月5日(木)

目標 600 個(令和元年度 1,120 個、令和2年度 311 個、令和3年度 448 個)

※4月29日(金・祝日)、5月3日(月・祝日)、5月4日(火・祝日)を臨時開館日とし、条例に基づく5月5日(木)の無料開館日の振替えとして5月6日(金)を臨時休館日とします。

(2) 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月28日(土)・7月9日(土)・11月3日(火・祝日) 目標 70名(令和3年度

2回開催 40名)

※11月3日(火・祝日)の無料開館日の振替えとして11月4日(水)を臨時休館日とします。

(3) 「ガラス玉をつくろう」

6月11日(土)・11月26日(土) 目標15組(令和3年度12組)
(4)「コースターをつくろう」(簡易織機、あんぎん台使用)

6月18日(土)・12月3日(土) 目標10名(令和3年度8名)
(5)「古代風プレスレットをつくろう」

6月18日(土)・12月3日(土) 目標10名(令和3年度9名)
(6)「大人の自由研究1ーカラムシから繊維をとろうー」

7月16日(土) 目標5名(令和3年度1名)
(7)「大人の自由研究2ー塩引きをつくろうー」

12月4日、11(日) 募集各日6名 目標12名(令和3年度8名)

2. 県内外の遺跡や資料館をめぐることで、遺跡や考古資料への関心・理解を深める。

(1) 春の遺跡めぐり 5月29日(日) 南相馬市の史跡と文化財2
真野古墳群、横手廃寺跡、横手古墳群、泉官衙跡、泉廃寺跡、
桜井古墳等

(2) みる・きく・ふれる遺跡の旅 6月25日(土)～26日(日) 栃木県中南部を予定

(3) 秋の遺跡めぐり 10月16日(日) 西川町の遺跡と文化財
月山の酒蔵資料館、岩根沢三山神社、丸山薫記念館、お仲間林遺
跡、弓張平遺跡群、大井沢自然博物館、大日寺跡等

3. 考古学への関心の裾野を広げる事業を行います。

(1) 館長講座 「高瀬山の考古学」を開催します。

特別テーマ展に展示する資料と出土遺構群について7月の日曜日に2回に分けて解説・
説明します。

第1回(7月3日(日))

・旧石器時代・縄文時代草創期の高瀬山遺跡

第2回(7月10日(日))

・縄文時代前期から晩期の高瀬山遺跡

4. 企画展のテーマに沿った考古学セミナーを開講し、企画展講演会も開催する。企画展の展示資料について理解を深めて頂くことを目的とします。

(1) 第24期考古学セミナー。(講師の先生は今後交渉します。)

講座のテーマ「最上地域の縄文時代」

第1回(9月25日(日))

・最上地域の縄文時代早期・前期の遺構と遺物

・最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺構と遺物

第2回(10月2日(日))

・最上地域の縄文時代中期後葉の遺構と遺物

・最上地域の縄文時代後期の遺構と遺物

第3回(10月9日(日))

・最上地域の縄文時代晩期の遺構と遺物

- ・縄文時代の緑色石英製玉とその分布

(2) 企画展講演会

11月13日(日)

演 題 「最上地域の縄文時代(仮題)」 山形考古学会会長 阿部 明彦 氏

5. 出前講座について、具体案を提示して積極的にPRし、依頼があった場合は適宜対応します。

- (1) 講演会等の講師要請に対しては、館長・学芸員による出前講座を実施する。
- (2) 体験学習等の講師要請に対しては、学芸員・館職員による出前講座を実施する。

6. 各種団体との連携事業を行ういます

- (1) 「うきたむ風土記の丘考古資料館自主事業委員会」との連携。
- (2) 「うきたむ考古の会」共催事業として遺跡の旅を行う他、他事業においても連携をとります。
- (3) 「うきたむ学講座実行委員会」との共催事業として「うきたむ学講座」の実施を検討します(令和2・3年度は新型コロナの影響で中止しました)。
 - ① うきたむ学講座 全3回
 - ② 特別講座(川西町)
- (4) 「山形考古学会」共催事業として山形の考古資料検討会を実施します。
- (5) 考古学関連の講演会やシンポジウムの共催等に随時対応します。
- (6) 「東北文化の日」に協賛します。

【5】博学連携事業

1. 授業・行事での利用

- (1) 利用の申し出があった場合は、事前に打ち合わせの上(利用打合せ書の提出)、見学・体験学習(出前講座含む)を実施します。
 - ① 見 学 館内展示、歴史公園の復元住居・古墳、周辺の遺跡等。
 - ② 体験学習 縄文服着用、火おこし、弓矢・石器・勾玉・ブレスレット・布作り。
- (2) 各事業内容について適宜見直しを行い、授業や行事に取り入れやすいよう工夫します。

2. 夏休み中の事業

小中学生を対象とした事業を行います(夏休み前に町内の小中学校にチラシを配布します)。

(1) 1日体験学習「スクールオブジョウモン」

- ① 目的 様々な縄文体験を通して考古学に対する興味を持ち、自由研究等にも役立てることを目的とします。
- ② 日時 8月20日(土)
- ③ 対象 小学生 10名程度(令和3年度は開催せず)
- ④ 内容 弓矢の的当て、石器づくり見学・石器で野菜を切る、火おこし(調理)、縄文原体を生地に押しつけ土器片形クッキー(ドッキー)をつくる、館内見学。

(2) 自由研究相談(夏休み期間中随時)

3. 博物館学実習

体験や実技を通し学芸員として必要とされる知識・技術等の基礎・基本を修得することを目的に、希望する大学生を受け入れて行う。

(1) 期 間 7月～9月の1週間

(2) 募集人員 5名程度

4. 教育目的に沿った中学・高校・大学の団体見学の受け入れ

より深い学びの場としての当館利用の促進を図る。

5. その他

教育関連団体ほか、各種団体に会場を提供するなど、学校教育・社会教育関係者との情報交換を密にする

【6】印刷物の発行

1. 館報 6月発行(第59号)・12月発行(第60号)。
2. 年報 令和5年3月発行
3. 企画展図録 9月発行(ポスター・チラシは8月に配布)
4. 催し物案内 令和4年3月発行
5. 各事業案内チラシ等 随時

【7】調査相談・借用依頼対応

当館所蔵資料の借用、利用依頼に対して随時対応します。所蔵以外の資料についても、調べたり相談先を紹介したりするなどして、できる範囲で対応します。